

今後のタイムライン検討方針について

令和元年8月29日

令和元年度 荒川下流域を対象としたタイムライン専門部会(運用訓練)

1. 拡大試行版の分割、再構築および各機関版の作成

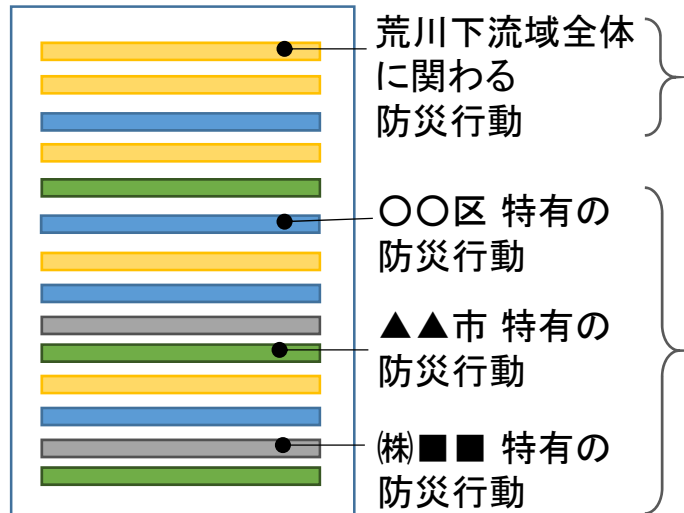
■令和元年度予定

- 「荒川下流タイムライン（拡大試行版）【2019年版】」の運用
【令和元年度出水期～】
- 拡大試行版を「荒川下流タイムライン（拡大試行版）」を「共通版」「各機関版（各市区版、各企業版）」に振り分け
【令和元年度出水期後～】

■令和2年度予定

- 「荒川下流タイムライン（共通版）（仮）」の検討

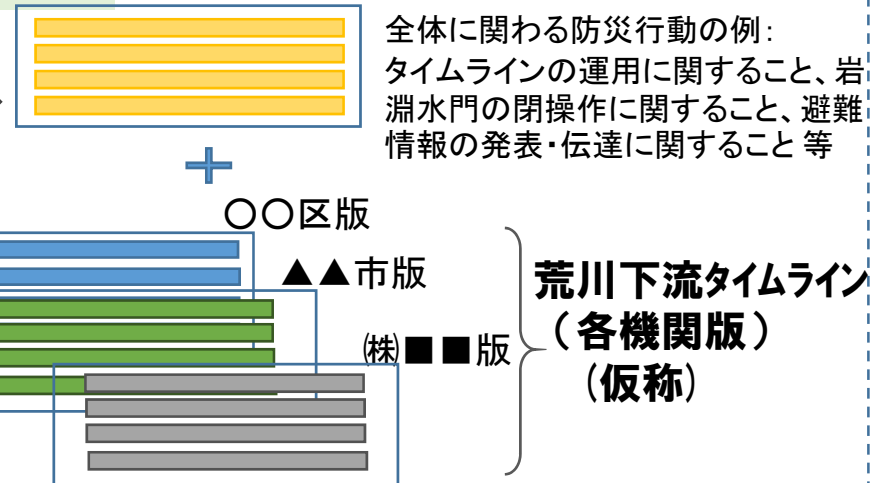
《現状》荒川下流タイムライン（拡大試行版）



【課題】

- ①流域全体に関わる防災行動
 - ②特定の機関の防災行動
- が混在

《今後》荒川下流タイムライン（共通版）（仮称）



【課題解決の方向性】

- ①流域全体に関わる防災行動
 - ②特定の機関の防災行動
- を分割

共通版及び各機関版TLの検討方針について

■共通版TLの検討方針

- 事務局において、共通版TL(素案)を検討。
- 来年度、専門部会等で共通版TL(素案)について検討・作成

■各機関版TLの検討方針

- 検討方針については、各機関の意向確認後、事務局で決定予定。
(本専門部会後にアンケート予定)

2. タイムラインで共有すべき情報について

■現状、タイムラインで共有を図る主な情報の種類

- タイムライン適用開始やレベル（目安の時刻）
- 気象・水象情報
- 各機関のタイムライン対応状況
- 岩淵水門上下流部の高水敷状況
- 岩淵水門ゲートの閉操作開始
- 今後の氾濫予測

適用開始やレベル、気象・水象情報

荒川下流タイムライン関係機関の皆様へ — 荒川下流河川事務所 防災企画室

※本メールは、荒川下流タイムラインメーリングリストにて送信しています。

※お願い
関係機関は着信確認のメールを返信していただけるようお願いいたします。

・荒川下流タイムラインについて、
東京管区気象台と荒川下流河川事務所で連絡調整の結果、
レベル1-1（参考：-96H）で**継続**とします。

**荒川下流メーリングリスト
による情報提供
（2019年/台風第10号時）**

（解説）
超大型の台風第10号は、種子島の南東約600キロを1時間におよそ15キロの速さで北西へ進んでいます。台風は、13日は日本の南を発達しながら北西へ進んで強い勢力となり、その後は進路を北よりに変えながら、14日から15日にかけて暴風域を伴って強い勢力で西日本に接近、上陸するおそれがあります。

○台風に関する気象情報（全般台風情報）：令和元年 台風第10号に関する情報 第65号（位置）（13日06時45分 気象庁予報部発表）
<https://www.jma.go.jp/jp/typh/D20190812214057891.html>

○台風に関する気象情報（全般台風情報）：令和元年 台風第10号に関する情報 第64号（13日05時00分 気象庁予報部発表）
<https://www.jma.go.jp/jp/typh/D2019081220021532.html>

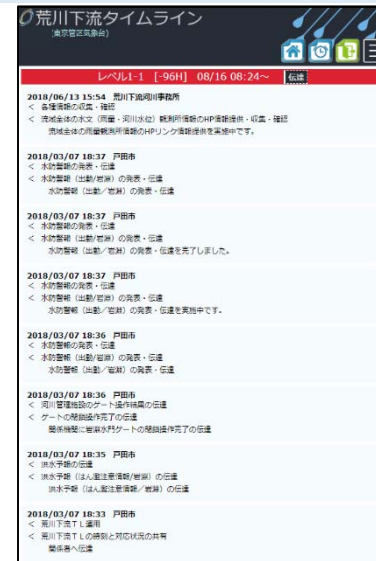
国土交通省 荒川下流河川事務所 @mri_arakawa_ka

【タイムライン】 #台風第10号に伴う #タイムライン の現在（8/12 10:00）の状況は、引き続き『レベル1-1』となっています。なお、今後の降雨や河川等の状況によりレベルは変わります。台風情報や河川の水位等に十分注意して下さい。 #荒川 #タイムライン

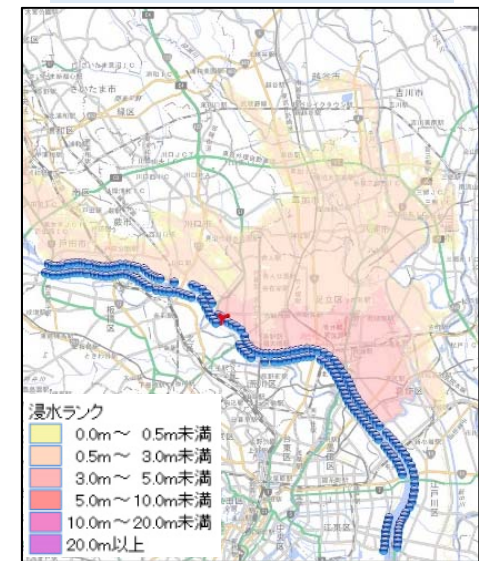
16:00 - 2019年8月11日

**事務所twitter
による情報提供
（2019年/台風第10号時）**

各機関のタイムライン対応状況



今後の氾濫予測



想定最大浸水想定図(浸水深)

その他、想定最大浸水想定図
(氾濫水到達時間)、
(浸水継続時間)も提供

岩淵水門ゲートの閉操作ほか



(参考) タイムライン及び情報共有ツールの活用ふりかえり

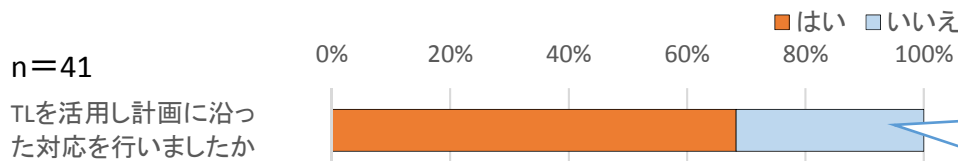
■振りかえり回答状況

➤ 台風第3号(回答率42%), 台風第6号(回答率37%), 台風第10号(回答率29%)

※台風第10号の振りかえり提出期限は8月30日

■振りかえりの主な内容(TL適用の台風を合算、6抜粋)

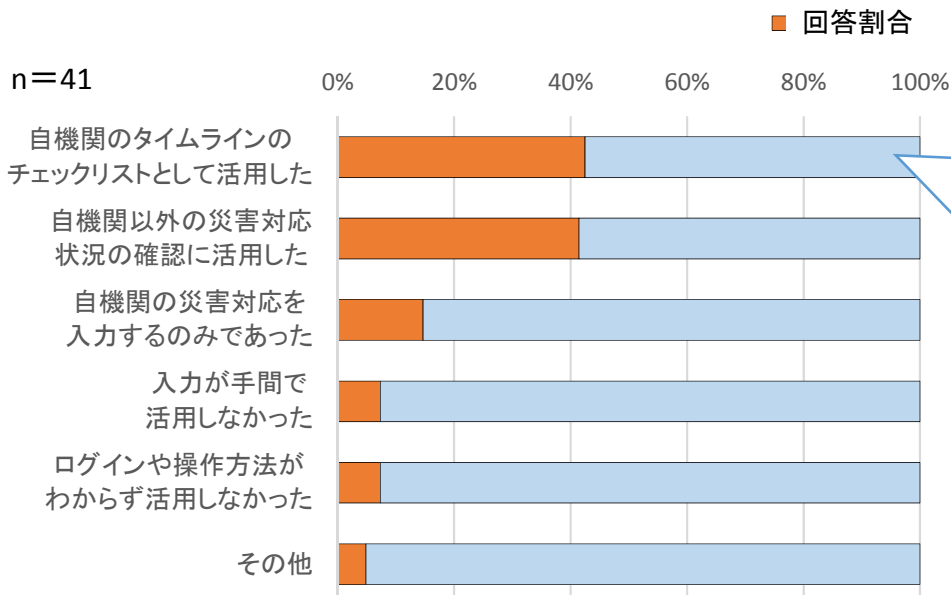
問. 台風対応において、荒川下流タイムライン(拡大試行版)活用し、計画に沿った対応を行いましたか。



活用しなかった機関のご意見

- ・担当が人事異動で変わり、活用利用を熟知していなかった
- ・組織内体制が通常の警戒体制であったため
- ・台風の進路が西に逸れたため

問. 情報共有ツールについて、該当する項目をお答えください。



活用しなかった機関のご意見

- ・熱帯低気圧からTL適用した場合、運用開始の時期が分からず、リアルタイムで項目チェックが一部できなかった
- ・複数ページ入力時に進み方が分かりにくい
- ・他機関への検索表示が一発でできる機能、全体が閲覧できる機能が欲しい
- ・休日等で操作する環境が無い場合の対応が決まっていなため、活用していない
- ・チェック項目が多すぎる
- ・ログの閲覧をタイムラインの表の様に一覧で表示して欲しい

協議事項及び依頼事項

1. 協議したい事項

①情報共有ツールの運用について

- 各機関での対応状況の共有は、どのような場面で活用されているか。
 - ・情報共有ツールでの他機関の対応状況の把握は、役に立っているか？
 - ・情報共有ツールへの入力負担となっていないか？

②タイムラインで情報共有したい情報について

- 現状のタイムラインで共有を図る情報以外に、共有したい情報はありますか。

⇒今後の情報共有ツールの改良や運用方法の改善の参考とさせていただきます

2. 依頼したい事項

①タイムライン適用時のメールへ返信をお願いします

タイムライン適用時のメールについて、着信確認メールの返信をお願いいたします。

②後日送付するアンケートへのご協力をお願いします

●アンケート項目

- ◎タイムライン適用演習を踏まえてのタイムラインの修正点
- ◎情報共有ツールの改善点
- ◎参考資料1「荒川下流TL(拡大試行版)の想定する被災シナリオと運用時に活用する情報について」についての修正・改善
- ◎今後の各機関版タイムラインの検討に向けたご意見・要望等